

老年看護学演習

| | | | |
|--------------|---------------------|--------|------------|
| 責任者・コーディネーター | 地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 地域包括ケア講座 | | |
| 対象学年 | 3 | 区分・時間数 | 演習 22.5 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学修方針（講義概要等）

老年期は、身体の諸機能が低下するが、衰退現象のみに視点を置くのではなく、高齢者の持てる力に注目し、セルフケア能力を活用した自立・自律の援助が大切である。高齢者に特徴的な疾患・症状を学び、援助の必要性の科学的な根拠を持ち、個別に応じた援助ができるよう知識・技術を学ぶ。また、高齢者のセルフケア能力の向上を支援する技術・態度を習得する。さらに、最後までその人らしく生きることを支援する方法を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

統合の時期にある高齢者を包括的に支援するために、高齢者のこれまでの生活習慣や特徴的な疾患・症状を学び、障害をもちながら生活する高齢者や家族の思いに対する理解を深め、チームアプローチや社会資源の活用方法の実際を考察することができる。個々の生活の場に応じて、その人らしく生きることを支援する看護実践を行うために、高齢者の生活機能の視点からアセスメントを行い、もてる力に焦点をおいた看護過程の展開を習得することができる。対象者のもてる力を引き出す援助を実践するために、高齢者のこれまでの生活を把握し、環境を整え強みを活かす支援を獲得することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 高齢者の回復過程に応じた看護を理解し、もてる力を引き出す看護を工夫することができる。
2. 高齢者のこれまでの生活史を理解し、高齢者を尊重する態度を表現することができる。
3. 認知症による症状を理解し、倫理を含めたケアについて配慮することができる。
4. 高齢者の生活機能の視点からアセスメントを行い、目標志向型の看護過程について発表することができる。
5. その人らしく生活できる生活指導について、発表することができる。

・授業日程

(矢) マルチメディア教室、他

【演習】

| 月日 (曜) 時限 | 講座(学科) 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|-------------------|--|---|
| 4/6 (木) 4限 | 地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者のもてる力を引き出す援助と高齢者の生活を支える援助 ・高齢者のもてる力を引き出す援助や高齢者の生活を支える援助について考察することができる 【事前学修】 シラバスをよく読み本科目の到達目標と演習内容を確認する(60分) 【事後学修】 高齢者のもてる力を引き出す援助や高齢者の生活を支える援助の要点についてまとめる(60分) |
| 4/10 (月) 3限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者のもてる力を引き出す援助① ・嚥下障害がある高齢者の食事介助に必要なポジショニングが実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴する(60分) 【事後学修】 嚥下障害がある高齢者の食事介助に必要なポジショニングの要点をまとめる(60分) |
| 4/10 (月) 4限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者のもてる力を引き出す援助② ・運動麻痺のある高齢者の残存機能を活かした移動、起立、移乗が実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴する(60分) 【事後学修】 運動麻痺のある患者の残存機能を活かした移動、起立、移乗の要点をまとめる(60分) |
| 4/20 (木) 3限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者のもてる力を引き出す援助③ ・運動麻痺および嚥下障害のある高齢者のセルフケア能力を活かした食事介助が実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴する(60分) 【事後学修】 運動麻痺および嚥下障害のある患者のセルフケア能力を活かした食事介助の要点をまとめる(60分) |
| 4/20 (木) 4限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者のもてる力を引き出す援助④ ・運動麻痺および嚥下障害のある高齢者のセルフケア能力を活かした口腔ケアが実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴する(60分) 【事後学修】 運動麻痺および嚥下障害のある患者のセルフケア能力を活かした口腔ケアの要点をまとめる(60分) |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 4/27 (木) 3限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助① ・高齢者に対する創処置を実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 高齢患者に対する創処置の方法の要点をまとめる(60分) |
| 4/27 (木) 4限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助② ・高齢者に対する褥瘡ケアを実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 高齢患者に対する褥瘡ケアの方法の要点をまとめる(60分) |
| 6/8 (木) 3限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助③ ・疾患を抱えた高齢患者に対するケアの方法について2名でディスカッションができる 【事前学修】 高齢者の身体的変化(解剖学的)について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者の身体的変化(解剖学的)に対する援助方法について要点をまとめる(60分) |
| 6/8 (木) 4限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者に特徴的な疾患をもつ患者の看護過程の展開① ・老年期にある事例に対する目標志向型の看護過程を展開できる 【事前学修】 目標志向型の看護過程について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 目標志向型の看護過程の展開を実施する(60分) |
| 6/20 (火) 1限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助④ ・麻痺のある高齢者の残存機能を活かした足浴を実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 麻痺のある患者の残存機能を活かした足浴の要点をまとめる(60分) |
| 6/20 (火) 2限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助⑤ ・認知症による意識障害と麻痺のある高齢者への全身清拭を実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 認知症による意識障害と麻痺のある患者への全身清拭の要点をまとめる(60分) |

| | | |
|--------------------|--|--|
| 6/27 (火) 1 限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助⑥ ・認知症による意識障害と麻痺のある高齢者への寝衣交換を実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 認知症による意識障害と麻痺のある患者への寝衣交換の要点をまとめる(60分) |
| 6/27 (火) 2 限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者の生活を支える援助⑦ ・認知症による意識障害と麻痺のある高齢者への陰部洗浄を実践できる 【事前学修】 WebClassにある本演習に関する視聴覚教材を視聴し実施計画を作成する(60分) 【事後学修】 認知症による意識障害と麻痺のある患者への陰部洗浄の方法の要点をまとめる(60分) |
| 7/6 (木) 1 限 | 地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者に特徴的な疾患をもつ患者の看護過程の展開② ・障害とともに生活する高齢者の退院支援について4名でグループワークできる 【事前学修】 目標志向型の看護過程の展開を実施する(60分) 【事後学修】 立案した計画の追加・修正を実施する(60分) |
| 7/6 (木) 2 限 | 地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教 | 高齢者に特徴的な疾患をもつ患者の看護過程の展開③ ・立案した計画についてグループディスカッション(プレゼン15分)ができる 【事前学修】 目標志向型の看護過程の展開を実施する(60分) 【事後学修】 立案した計画の追加・修正を実施する(60分) |

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------------------------------|--------|--------|------|
| 教 | 高齢者看護の実践 第5版 | 堀内 ふき他 | メディカ出版 | 2021 |
| 教 | 高齢者の健康と障害 第6版 | 堀内 ふき他 | メディカ出版 | 2021 |
| 参 | 生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 第3版 | 山田 律子他 | 医学書院 | 2016 |

・成績評価方法

| |
|---|
| 筆記試験 70%、演習の取り組み 30%とし総合的に評価する。 *演習の取り組みは、演習の評価表、事前課題の内容や提出状況から評価する。 |
|---|

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）をした上で授業に臨むこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 60 分を要する。演習の開始前には、“WebClass”にある動画の視聴と演習チェックシートへの記載を行い、演習で行う内容をイメージした上で臨むこと。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

技術に関しては、その都度フィードバックを行う。
提出された課題に関しては、コメントを付し学生に返却することでフィードバックを行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 老年看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------|----|-----------------------|
| 講義 | ノート PC | 2 | 講義資料の作成、インターネットクリッカー等 |
| 講義 | プロジェクター（VPL-FHZ55） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 演習 | 車いす | 8 | 移乗動作の練習 |
| 演習 | 杖 | 7 | 歩行訓練時に使用 |
| 演習 | 義歯 | 12 | 口腔ケア（義歯の洗浄） |
| 演習 | 万能型看護実習モデル“八重” | 12 | 全身清拭 |